

―連携取組で育てたい人材像とは。

この取組で目指すのは、基幹保育者の育成のため。プログラム開発です。この取組で、保育に関する高い専門的知識と技術・技能に長け、子どもを慈しみ、夢に寄り添い、「子とともに生きる保育者づくり」です。

―そのような人材を必要とする背景には、どのような課題があるのでしょうか。

自宅待機児童の解消等保育子育て支援の充実が叫ばれていますが、保育施設の増設・保育制度の充実とともに、「一人ひとりの子どもたちを大切に」する「保育内容の工夫や、保育者自身の資質の向上も求められています。こうした保育の充実への社会的期待に応える取組です。

―なぜこの4大学・短大で連携することになったのですか。

この桜花学園大学・名古屋短期大学・名古屋柳城短期大学・岡崎女子短期大学は、毎年九百名を養成する「伝統と実績」を持つ保育者養成校です。

愛知県における現職保育者の約4割を同窓生が占めることから、その影響は大きく永年培ってきたそれぞれのノウハウを共有すべく、大学間連携を推進することにより、より質の高い保育者養成を目指すこととしました。

―取組は5年間実施します。どのような計画を立てていますか。

今年共同教育事業の拠点となる「サテライト・センター」を金山総合駅隣地に設置しました。

サテライト教室での合同授業と各キャンパスを繋ぐ遠隔講義システム利用で優れた授業の共有をします。また、このサテライト教室やITシステムの活用は、保育系学生の自主的活動「正課外活動」等の交流支援（1万人規模の「保育フェスティバル」企画の実現）にも活用します。

―この事業に採択されたことで、新たにどのようなことができるようになりますか。

授業の共有のほか、社会人に対する教員免許更新講習や保育者研修、公開講座など幅広い共同教育事業の展開とともに、保育各分野で保育現場と連携した共同研究の促進の促進が期待されます。

―取組の中には、各大学等でこれまで行っていた活動のレベルアップを図るものもあると思います。それはどのようなものですか。

各大学で学ぶ約2千人における教育・研究のレベルアップとともに、保育学生の課外活動・学生間交流を支援し「人間力」・「社会人力」を養い、保育者としての資質の形成を促進します。

―連携の成果はどのような形で社会に示すことができるのでしょうか。具体的な成果指標のイメージはありますか。

愛知県教育委員会・子育て支援課・幼稚園・保育所等保育団体との協働組織「保育コンソーシアムあいち」として、保育者養成の充実のほか、各種「保育者研修」や「市民保育講座」、保育・子育て相談等を実施し、「保育・教育指針」を提言行うなど「保育・子育ての支援」に取り組みます。

### ステークホルダーからのメッセージ

愛知県教育委員会義務教育課 主査

栗木 節子

愛知県教育委員会では、愛知県の幼児期の教育・保育の現状と課題を踏まえ、幼児教育の充実を目指し「愛知の幼児教育指針」を策定いたしました。

そこで連携取組として、社会的ニーズに対応した保育者養成教育と保育の質の保証のために、愛知の幼児教育の方向性を示す、この指針の活用を要請いたしました。大学間による「共同教育プログラム開発」に向けては、保育現場における情報の提供に協力し、養成校と現場の連携を図っていきたくと考えております。

本事業が将来を担う保育者と現任保育者の資質や指導力向上につながっていくことを、心より期待しております。

